

第3次半田市産業・観光振興計画（案）概要版



第1章 計画の改訂にあたって

改訂の目的・位置づけ・計画期間

「半田市産業・観光振興計画」の計画期間は、令和4年度から令和13年度までの10年間です。この間、わが国においては新型コロナウイルス感染症の蔓延から5類への移行、生成AIなどの技術の進展など、まちづくりを取り巻く環境は変化しています。本市においては、半田病院の移転に伴う知多半島総合医療センターの建設・開院、「ココリン（半田市創造・連携・実践センター）」の設置やJR半田駅周辺の整備などを進めています。本市を取り巻く社会経済情勢が大きく変化するなか、「産業振興会議」において、産業振興ビジョンの必要性や時流に合わせた各種行政計画の見直しなどの提言が、令和7年2月に市長へ提出されました。そのため、令和8年度に中間評価及び中間見直しを行うところ、令和7年度に1年前倒して改訂を実施することとし、本計画では根幹である基本構想のもと、社会経済情勢や計画の進捗状況等を踏まえ「先導プロジェクト」を中心に、新たに「重点項目」と「はんだ産業振興ビジョンマップ」を示し、後期計画として策定するものとします。

第2章 半田市の産業・観光の現状と課題

本市の産業及び観光の主要課題

(1) 農業

- ①多様な担い手の確保・育成と経営体の収益力向上
- ②知多半牛をはじめとする農産物のブランド力強化
- ③耕作放棄地の活用及び農業基盤の維持向上
- ④市民が農業に親しむ機会の充実

(2) 商業

- ①経営の安定化 ②創業・起業促進
- ③商店街及び中心市街地のにぎわい創出

(3) 工業

- ①新たな企業用地の確保
- ②既存企業の活性化
- ③産業活動の環境改善
- ④就業・就労環境の整備

(4) 観光

- ①半田の魅力を活かした観光振興
- ②受入環境の整備 ③持続可能な観光の推進

(5) 分野共通

- ①食と観光の連携促進 ②異業種連携の促進
- ③観光まちづくりの推進 ④地域産業を担う人づくり

第3章 基本構想

ふる 基本理念…『故きを活かし 革新に挑む』

基本的な考え方

- 【方針1】農商工観をはじめとする分野横断的な取組の推進
- 【方針2】観光の多様な効果を活かしたまちづくりの推進
- 【方針3】既存産業の活性化と次世代産業の創出
- 【方針4】予期せぬ社会変化への対応



第4章 分野別の方針と施策

分野別的基本方針

- 農業** 「経営体の収益力向上と持続的な農業経営基盤の構築」
- 商業** 「経営環境の向上と地域商業のにぎわいの創出」
- 工業** 「地域経済を牽引する産業集積の形成と活性化」
- 観光** 「半田ならではの魅力を活かした観光振興による地域活性化とまちへの愛着と誇りの醸成」

分野	基本施策	個別施策
1. 農業	(1) 農業経営の安定的な継続と支援	<ul style="list-style-type: none">①多様な担い手の確保と育成②経営体の収益力向上
	(2) 耕作放棄地の活用と農業基盤の維持向上	<ul style="list-style-type: none">①耕作放棄地の活用と農業の多面的機能の増進②農業用水の安定確保と農業基盤の維持向上
	(3) 農業に親しむ機会の充実	<ul style="list-style-type: none">①地元農産物の利用促進②農業体験に関する環境整備
2. 商業	(1) 経営の安定化とチャレンジへのサポート強化	<ul style="list-style-type: none">①経済の回復と経営環境の向上②創業支援の充実
	(2) 持続可能な商業振興	<ul style="list-style-type: none">①地域に密着した個店づくりと商店街の活性化の推進
	(3) 人が集まる中心市街地の形成	<ul style="list-style-type: none">①魅力ある中心市街地の形成
3. 工業	(1) 新たな企業用地の確保に向けた取組	<ul style="list-style-type: none">①内陸部での工業団地の造成②臨海部での工業用地を確保
	(2) 企業の成長に向けた支援・活動	<ul style="list-style-type: none">①事業拡大に向けた企業支援②産業活動の環境改善
	(3) 就業・就労環境の整備*	<ul style="list-style-type: none">①安定した雇用の確保②働きやすい環境づくり
4. 観光	(1) 半田ならではの魅力を活かした観光振興	<ul style="list-style-type: none">①観光資源の磨き上げ・発掘とブランド形成②効果的なプロモーションの推進③観光消費の促進④広域連携による観光振興
	(2) 受入環境の整備と充実	<ul style="list-style-type: none">①魅力を創出する景観・空間の形成②多様な観光ニーズへの対応
	(3) 持続可能な観光の推進	<ul style="list-style-type: none">①まちへの愛着と誇りの醸成②技術の進展や社会の変化への対応

※他分野にも共通

第5章 先導プロジェクト

第4章で掲げた様々な基本施策のうち、特に計画期間の前期に力を入れて優先的に取り組む施策を「先導プロジェクト」として位置付け、後期における個別の事業内容を具体的に記載します。

PROJECT 1 6次産業化の推進

6次産業化推進に向けた本市の農業課題を解決するための取組を実施し、個々の農家の価値や半田の農業の魅力を高め、所得向上や、農家、農業に寄与した地域活性化につなげていきます。

- ①農家を起点とした地域交流（地域プラットフォーム）「にこもぐ」の展開
- ②付加価値経営を実践する農家を増やすための支援
- ③半田の農業を広く知つもらうための情報発信

PROJECT 2 中心市街地の魅力向上

知多半田エリア・半田駅前エリア・半田運河エリアの3つのエリアにおける公共空間などを活用し、人を集め仕掛けづくりや気運の醸成を図るとともに、令和12年度に竣工予定のJR武豊線の鉄道高架化とそれに併せて実施しているJR半田駅周辺の土地区画整理事業により整備する公園や広場等の公共空間の活用も見据えた検討を進め、中心市街地全体の活性化を進めています。

- ①名鉄知多半田駅東ロータリーのリニューアル
- ②JR半田駅周辺における魅力の創出に向けた環境整備
- ③創造・連携・実践センター(ココリン)を核とした起業・創業支援や産業人材の育成

PROJECT 3 新たな工業用地による経済効果の創出

企業立地のニーズが高い内陸部にある石塚地区で工業団地を造成することで、企業の事業拡大等が可能となり、市内外企業の新たな誘致を進めます。

税収の増加及び新たな雇用創出による定住人口の増加を図るために、石塚地区工業団地や民間開発が可能な中億田地区工業用地へ企業の誘致を進め、産業立地セミナーへの出展や企業訪問を行なうほか、新たな補助金等の優遇施策を導入します。

- ①石塚地区における工業団地造成
- ②企業誘致

PROJECT 4 半田運河エリアにおける魅力向上とにぎわいの創出

半田運河周辺における海運・醸造、近代化等の歴史・文化に根差した観光振興と、優れた景観の保全・形成の促進やJR半田駅周辺における新しいまちづくりと結びつけることにより、エリアの魅力と認知度の向上を図り、来訪者の増加による賑わいの創出を目指します。

- ①魅力を創出する景観・空間の形成
- ②まち歩きにおける立ち寄り先の充実
- ③半田運河周辺ならではのイベント開催
- ④半田運河周辺の歴史や醸造・発酵食文化等を活かした食の観光の推進

「重点項目」及び「はんだ産業振興ビジョンマップ」

先導プロジェクトと併せて、将来への更なる産業力の強化に向け、「重点項目」を示すとともに、「はんだ産業振興ビジョンマップ」を策定しました。

- 重点項目
- 1 「醸造・発酵のまち」としてのブランディングを推進します。【PROJECT 4-④】
 - 2 道の駅等の整備醸すなど地域の農業や文化を体験できる場所の創出を進めます。【PROJECT 1-①】
 - 3 地域に伝わる文化財の活用を図ることで、まちの活性化や文化財の保存継承につなげます。
 - 4 新美南吉の里山をモデルにした自然共生型地域づくりを推進します。
 - 5 半田赤レンガ建物を拠点とし、民間企業と連携や発酵食品の販売など、観光と文化振興を推進します。
 - 6 地域の文化を活用し、地元高等教育機関を始め、ココリンや企業と連携を通して、人材育成や起業・創業支援を図ります。【PROJECT 2-③】
 - 7 革新的なアイデアや技術を持つ人々をサポートするSTATION Aiなどを活用し、商工会議所を中心とした産官学金が連携し、産業のDX化を図ります。

